

[インデックスに戻る](#)

### 13. 平面ベクトル

#### 13-1. ベクトルの定義と演算

##### 13-1-1. ベクトルの定義と相等

##### 13-1-1-2. ベクトルの表記

有向線分  $\overline{AB}$  で表されるベクトルを  $\overrightarrow{AB}$  で表す。ベクトルを  $\vec{u}$  のように、アルファベットの小文字一文字で表すこともある。ベクトル  $\overrightarrow{AB}$  の大きさを  $|\overrightarrow{AB}|$  で表す。

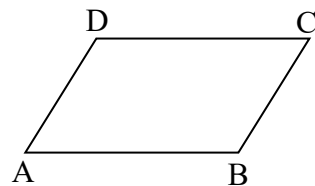
向きが同じで大きさが等しい2つのベクトル  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  は等しいといい、 $\vec{a} = \vec{b}$  と書く。すなわち、 $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CD}$  は、有向線分  $\overline{AB}$  を平行移動して有向線分  $\overline{CD}$  に重ね合わせるができるという意味である。

ベクトル  $\vec{a}$  と向きが反対で大きさが等しいベクトルを、 $\vec{a}$  の逆ベクトルといい、記号で  $-\vec{a}$  と表す。 $\overrightarrow{AB}$  の逆ベクトルは  $\overrightarrow{BA}$  で表される。すなわち、 $\overrightarrow{BA} = -\overrightarrow{AB}$  である。

(例)

平行四辺形  $ABCD$  において、

$$\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{DC}, \quad \overrightarrow{AD} = -\overrightarrow{CB}$$



[インデックスに戻る](#)